

A vibrant illustration of a tropical jungle. The scene is filled with various palm trees and lush greenery. Several colorful parrots are shown in flight or perched on branches. In the foreground, two people are engaged in harvesting; one is standing and holding a basket, while another is reaching up to pick fruit from a tree. A jaguar is visible in the lower right, and a monkey is seen climbing a tree trunk. The overall atmosphere is bright and lively, representing a thriving agricultural environment.

2026年3月期 決算補足説明資料

株式会社フルッタフルッタ（証券コード:2586）

2026年5月15日



Our Philosophy

自然と共に生きる

フルッタフルッタが目指すのは、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会の実現です。アグロフォレストリーはそのソリューションの一つであり、私たちはその恵みであるアマゾンフルーツを革新的な商品にかえてお届けし、アグロフォレストリーの発展に貢献するとともに、お客様に本物の美と健康をご提供してまいります。

Our Purpose

自然資本主義

ブラジル・アマゾンに渡った日本人移民が創立したトメアス総合農業協同組合(CAMTA)と出会い、彼らが確立した栽培手法である「トメアス式アグロフォレストリー」(混農林法)に当社の長澤が共鳴したことが創業のきっかけです。

アグロフォレストリーの拡大を促し、荒廃地を緑に変えていきたい。森をつくる農業「アグロフォレストリー」の発展にビジネスの力で貢献し、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会の実現を目指します。



アグロフォレストリーは 『生物多様性』と『CO₂削減』を両立する ソリューション

「ネイチャーポジティブ」は、企業・経済活動によって生じる自然環境への負の影響を抑え「生物の多様性を維持する」という従来の発想から大きく踏み込んで、「生物多様性を含めた自然資本を回復させる」ことを目指す新たな概念であり、近年、企業経営において重要性を増しています。



CONTENTS

P05-12

01 通期決算ハイライト

P13-17

02 主なTOPICS

P18-28

03 今後の見通し

P29-31

04 成長投資と資金調達の変遷

P32-34

05 サステナビリティの取組み



01

通期決算ハイライト

売上高は3,142百万円(前年同期比123.3%)と、**前年同期(売上高2,549百万円)を上回る結果**となりました。

売上高

3,142 百万円

前年同期比 **123.3 %**

営業利益

94 百万円

前年同期比 **△58.9 %**

経常利益

126 百万円

前年同期比 **△46.2 %**

当期純利益

83 百万円

前年同期比 **△69.3 %**

－ ポイント

- ① リテール事業、業務用事業、ダイレクトマーケティング事業、海外事業のいずれの部門も極めて堅調な推移。
- ② 歴史的な円安の進行による仕入れコストの押上が利益を圧迫。コスト上昇分を吸収する構造改革を推進。
- ③ アサイー×ヨーグルトの組み合わせを促進した結果、日常の食習慣として定着が進む。
- ④ ブーム沈静化によるトップラインの減少と来期に向けた戦略的先行投資の増大による利益率の低下。

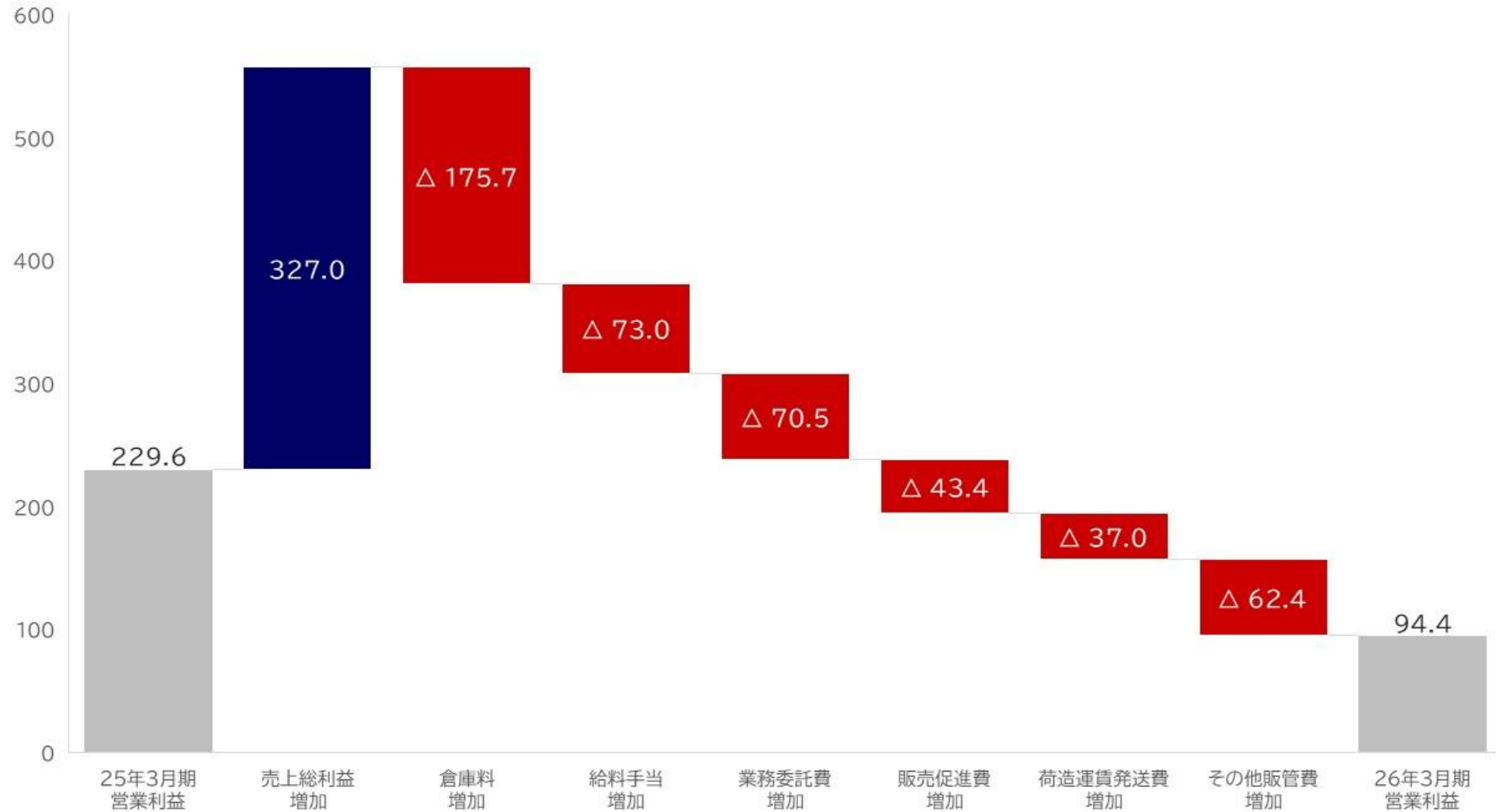
販売費及び一般管理費が1,193百万円(前期比63.4%増)と大きく増加いたしました。が、「中国を中心としたアジア輸出事業」および「国内大手CVS・SM向けの商品導入拡大」を見据えた極めて前向きな「戦略的先行投資」が存在しております。

	2025年3月期 通期		2026年3月期 通期		対前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	2,549	100.0%	3,142	100.0%	+593	23.3%
売上総利益	960	36.8%	1,288	41.0%	+327	34.2%
販売費及び一般管理費	730	28.7%	1,193	38.0%	+463	17.9%
営業利益	229	8.1%	94	3.0%	△135	△58.9%
経常利益	234	8.2%	126	4.0%	△108	△46.2%
当期純利益	270	6.7%	83	2.7%	△187	△69.3%

※2025年3月期実績の当期純利益には法人税等調整額△75百万円、2026年3月期実績の当期純利益には法人税等調整額20百万円を含みます。

業績の構造的悪化ではなく、中国を中心としたアジア輸出事業の本格始動や、国内大手コンビニエンスストア・スーパー向けの大型導入を見据え、意図的に在庫を確保したため、販管費が増加し営業利益の押し下げ要因となっております。

(単位・百万円)



各チャネル4軸が有機的に連動することで、当社の独自性と市場の追い風を各層で結実させ、**全方位で死角のない力強い成長を加速**させてまいります。

(百万円)	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期実績	前年同期比 (増減額)
売上高	2,549	3,142	123.3% (+593)
リテール	1,096	1,365	124.5% (+269)
業務用	1,132	1,364	120.5% (+231)
DM	301	351	116.5% (+49)
海外	18	60	329.8% (+42)

- ヨーグルト売り場への面拡大を狙い、新商品「ヨーグルトにかけるだけ」をリリース。
- 新たな収益の柱として「冷凍かつフルーツ ピタヤ」をリリース。アサイーボウルのトッピング需要も狙う。

- アサイーが「欠かせない定番原料」として定着し、売上を牽引。
- 他社商品への原料採用が拡大し、パッケージへの当社ロゴの記載によりブランド認知も拡大を見込む。

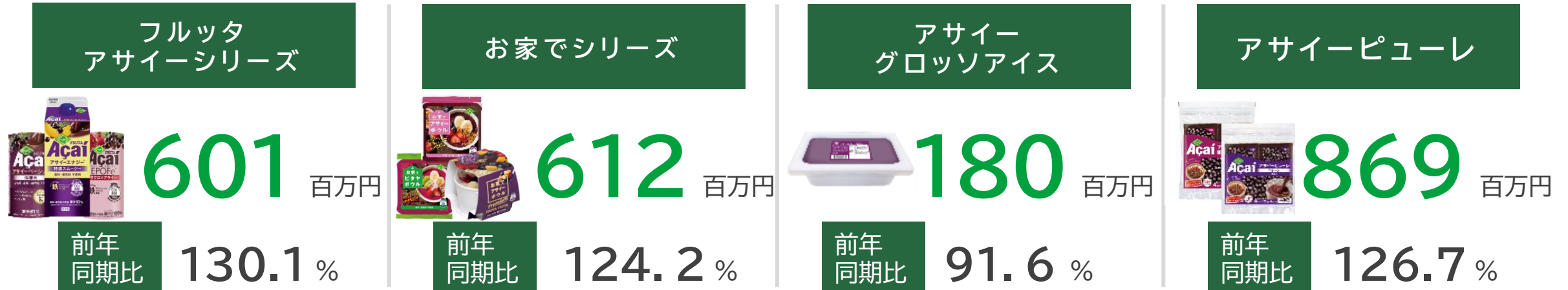
- 自社ECにおける定期購入により安定的なLTVの向上が進む。

- COP30を経てアグロフォレストリー産カカオの需要が増大。
- アジア市場に向けた準備期間であり、有力パートナー企業との契約を進行。

商品別のハイライト (1)

アイスが微減も、主力3カテゴリが**前年比24%超と大幅伸長**。

高品質・高濃度とサステナブル調達を強みに、圧倒的な付加価値でアサイー市場の拡大を力強く牽引してまいります。



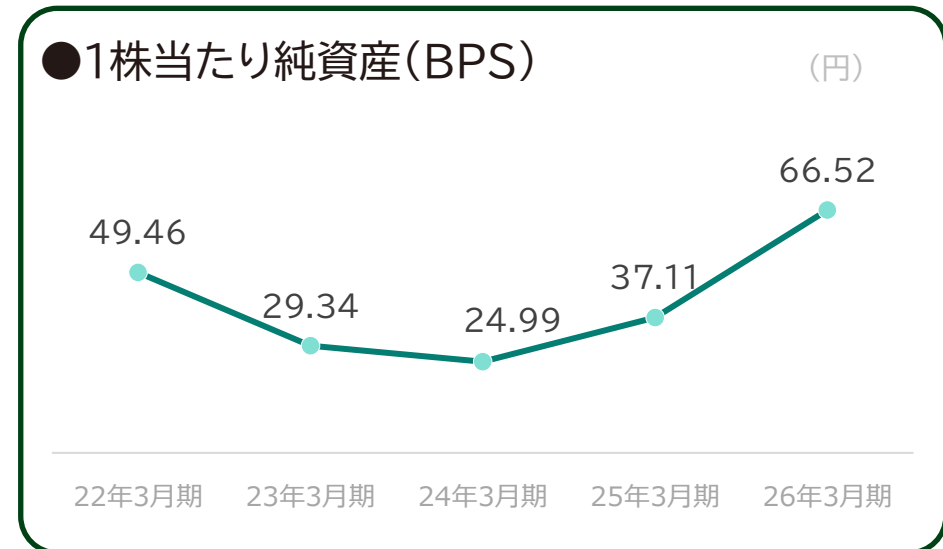
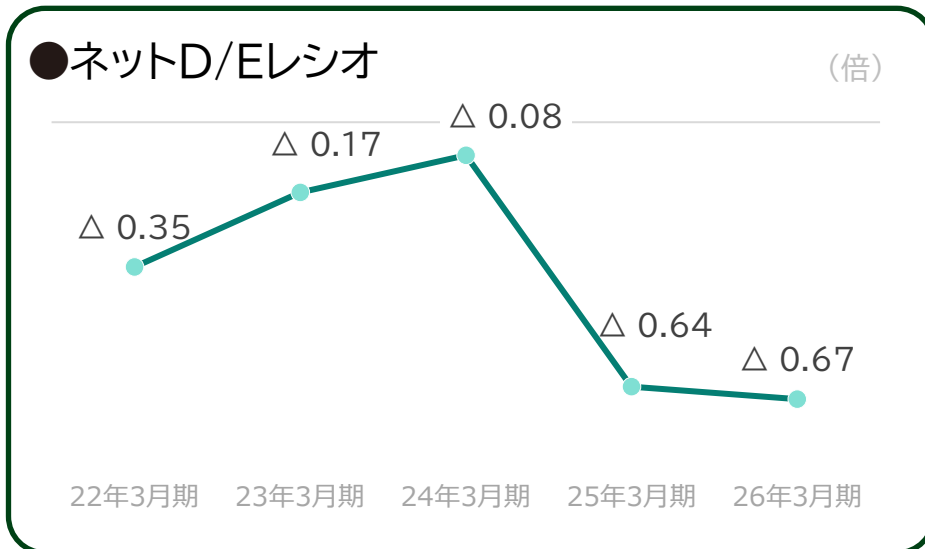
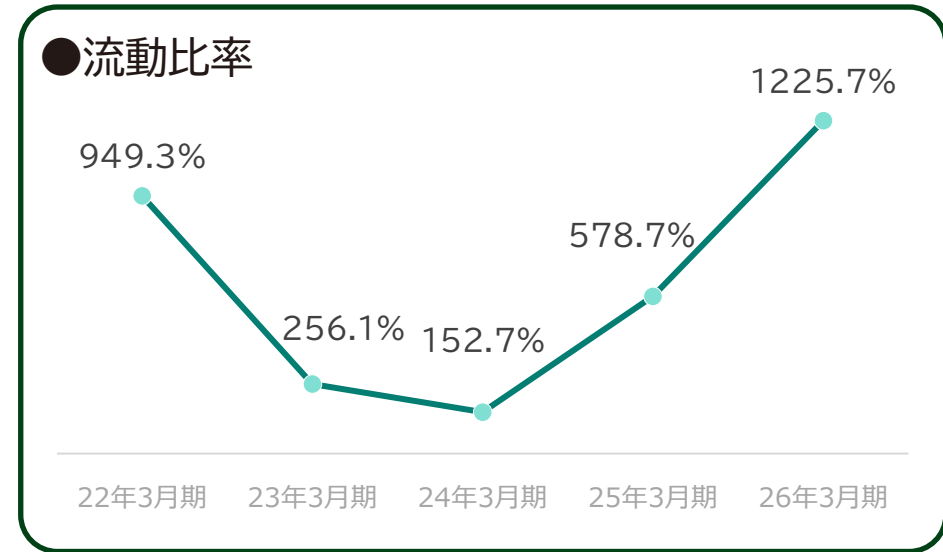
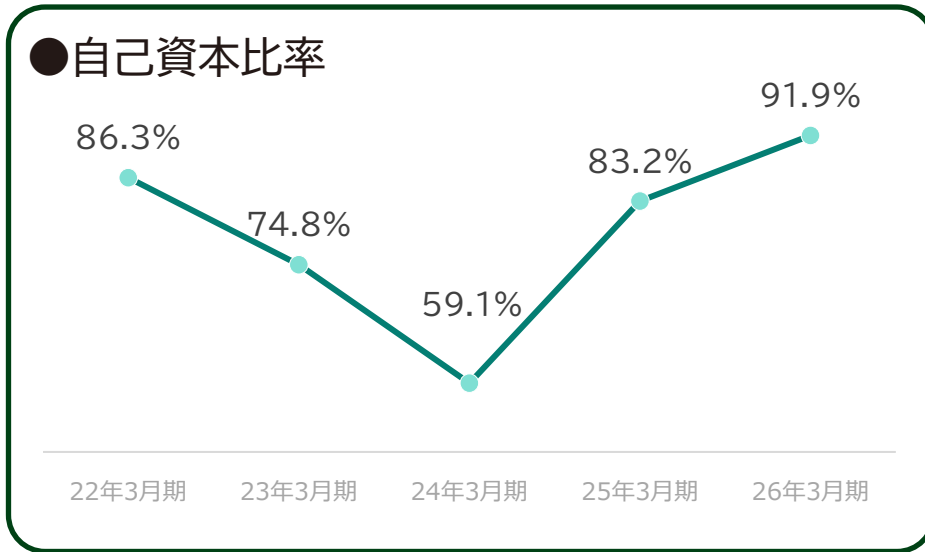
ポイント

- 1 アサイー市場は依然として活況であり、トレンドを超えて日本の食文化として根付く流れを推測しております。
- 2 アグロフォレストリーのストーリー性を付加価値として安定供給体制の維持とブランド価値の向上により、日常生活での定番化及び定着化が表れております。
- 3 業務用市場において競争が激化。品質低下、価格面でのダンピングが発生しております。

第14回新株予約権の権利行使も進行していることで「現金及び預金」、「資本金」及び「資本準備金」が増加しております。この結果、**総資産が4,151百万円増加し、自己資本比率は91.9%と8.6pt増加**いたしました。

(百万円)	2025年3月末	2026年3月末	増減額	主な理由
流動資産	3,404	7,575	+4,171	現金及び預金、アジア展開に備えた棚卸資産の増加
現金及び預金	1,886	4,716	+2,829	第12回、第14回新株予約権の権利行使による増加
固定資産	143	123	△19	
総資産	3,547	7,699	+4,151	
流動負債	588	618	+29	原料調達および商品製造のために発生した仕入債務の増加
固定負債	3	3	0	
純資産	2,955	7,077	+3,983	第12回、第14回新株予約権の権利行使による資本金及び資本準備金の増加
自己資本比率	83.2%	91.9%	+8.6pt	

自己資本比率は90%超、流動比率も安定して150%超を維持しております。



A large, faded version of the FRUTA FRUTA logo is centered on the page. It features the same diamond shape and text as the header logo, but in a light gray color. The number "02" is prominently displayed in the center of the diamond, underlined in green. Below the diamond, the Japanese text "主なTOPICS" is written in a bold, black, sans-serif font.

02
主なTOPICS

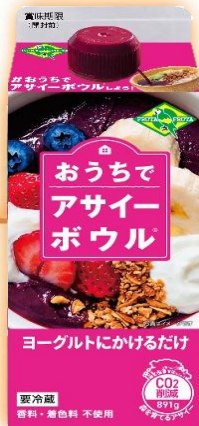
市場を2軸にフォーカスした新商品を展開！



春夏商戦では『アサイーヨーグルト市場(チルド)』、『アサイーボウル市場(フローズン)』の2軸にフォーカスした商品を展開します。調理の手間を極限まで省き、より日常的な喫食シーンを創出する新しい形状の製品や、急増するヘビーユーザーのニーズに応える容量バリエーションの拡充、さらにはグローバルで市場が急拡大しているアマゾンフルーツをラインナップに追加します。

アサイーヨーグルト市場 (チルド)

NEW PRODUCT 01



【タイパ&簡便性】の追求

- ・忙しい現代人の朝食ニーズを捕捉
- ・「混ぜる手間」を極限まで削減
- ・新たな顧客層（時短重視派）を開拓

↑ 売上・回転率UPへ

アサイーボウル市場 (フローズン)

NEW PRODUCT 02



【高付加価値・機能性】の強化

- ・健康志向+αの価値を提案
- ・客単価の向上を実現
- ・コアファン（健康高講層）のロイヤリティ深化

↑ 利益率改善へ

NEW PRODUCT 03



【新体験・話題性】の創出

- ・NEXTアサイーの新しい楽しみ方を提案
- ・SNSでの拡散・話題化を狙う
- ・ブランドの鮮度維持と新規流入促進

↑ 認知度拡大へ

忙しい朝でも「かけるだけ」で完成する圧倒的な手軽さをきっかけに、**ヨーグルト売場等との連動(クロスマーチャンドライジング)**により**「買い合わせ需要」**を喚起し、客単価と販売点数の向上を狙います。

●おうちでアサイーボウル® ヨーグルトにかけるだけ

ヨーグルト売場に、待望の「アサイー初のチルドソース」が登場。
冷蔵庫から取り出してサッとかけるだけで、あっという間に本格的なアサイーヨーグルトが完成する、**タイプ(タイムパフォーマンス)抜群**のアサイーベースです。
最大の特徴は、**常温品ではなく冷蔵品(チルド)**であること。これにより、アサイー本来のみずみずしい美味しさをダイレクトにお楽しみいただけます。
ミキサーやブレンダーは一切不要。忙しい朝でも、ヨーグルトに合わせるだけで簡単に「お家アサイーボウル」が楽しめる、**今のライフスタイルにぴったりの新トレンド商品**です。



急増するヘビーユーザーのニーズに応える容量バリエーションの拡充により、日常の食事の中でコスパの良いアサイーボウル体験が可能となります。**健康志向+αの強化でユーザ需要を喚起**し、高付加価値化と利益率の改善を狙います。

●おうちでアサイーボウル® M



アサイーの濃厚さを極めた**独自の「黄金レシピ」**による、滑らかでもったりとしたリッチな質感が特徴です。

昨今のトレンドである大容量の「パイントサイズ」を採用することで、**KG単価のコストダウンを実現**。本格的なアサイーを**日常的にたっぷり楽しめる「買いやすさ」と「圧倒的なコスパ」**を追求しました。ミキサーを使わずスクープするだけで、カフェのような本格的なベースが完成します。

トッピングを自由に入れ替えるカスタム性の高さはもちろん、**ストックに便利なサイズ感**で、毎日のヘルシーなアサイー生活をより身近にサポートします。



アサイーボウルのトッピングを差別化する「NEXT TREND」の仕掛け

グローバルで市場拡大が進むレッドドラゴンフルーツの新商品を投入し、アサイーだけに偏らない**ブランド価値の向上と新規流入の獲得**、特徴的なカラーのフルーツにより**SNSでの拡大・話題化**を狙います。

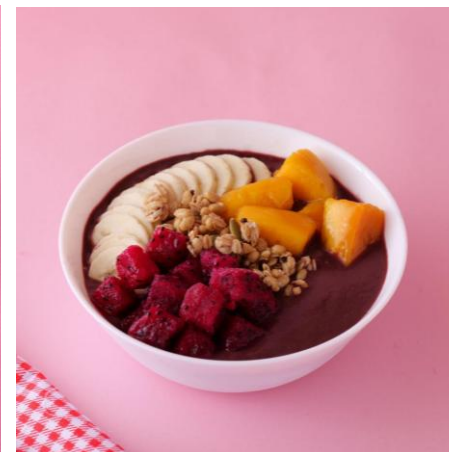
●レッドドラゴンフルーツ 完熟カットピタヤ



アサイーボウル人気が定着する中、**トッピングによる差別化を提案する「スーパーフルーツトッピング」**の決定版です。次なるブームを牽引する**「NEXT TREND」**への仕掛けとして戦略的に展開いたします。

最大の強みは、**圧倒的なビジュアルと機能性の両立**です。鮮やかなビビッドピンクに含まれる「**ベタシアニン**」と、種に含まれる「**葉酸**」が、**一目で惹きつける「映え」と「高い健康価値」**を同時に提供します。完熟ピタヤを使いやすいキューブ状にカットし、急速冷凍で美味しさを凝縮しました。

トッピングを差別化し、**ボウルの付加価値を一段引き上げるアイテム**として、新しい健康習慣のトレンドを強力に後押しします。





トップラインが力強く成長し売上総利益が伸長したものの、圧倒的需要に応えるための「攻めの先行投資」(戦略的在庫確保)による物流倉庫保管コスト発生があったため減益での着地となりました。

	2026年3月期 通期実績		2026年3月期 業績予想		達成率
	金額	売上比	金額	売上比	達成率
売上高	3,142	100.0%	4,000	100.0%	78.6%
営業利益	94	3.0%	400	10.0%	23.6%
経常利益	126	4.0%	370	9.3%	34.1%
当期純利益	83	2.7%	300	7.5%	27.7%

※業績予想の当期純利益には、法人税・住民税及び事業税までを含み、現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性が見込まれる部分について検討していた段階であることから法人税等調整額は含みません。

着実な成長に向けた準備期間として黒字を堅守し、今後ダウンサイドに至るケースでも将来アップサイドを得られる、安定した収益につながるポートフォリオを構築してまいります。

2027年3月期の最終利益額は横ばいとなる見通しですが、中期的な成長戦略を実行して獲得利益の拡大を実現してまいります。

※今後計画しているポートフォリオと取り組む成長戦略のより詳細な内容は、2026年6月ごろ開示予定の「事業計画及び成長可能性に関する事項」にてお知らせいたします。

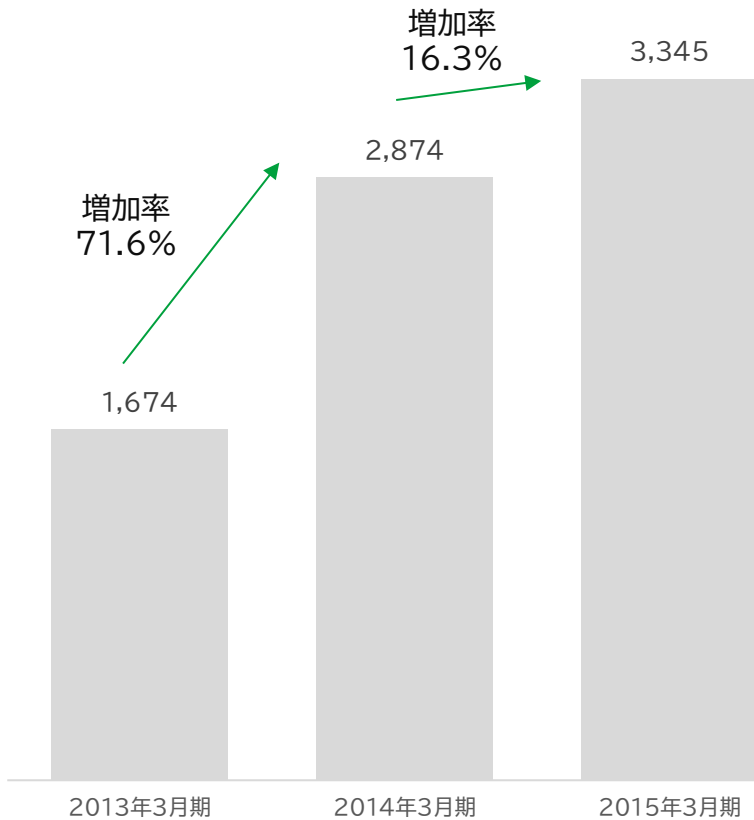
	2026年3月期 通期実績		2027年3月期 業績予想		増減率
	金額	売上比	金額	売上比	増減率
売上高	3,142	100.0%	3,400	100.0%	8.2%
営業利益	94	3.0%	170	5.0%	80.0%
経常利益	126	4.0%	150	4.4%	19.0%
当期純利益	83	2.7%	100	2.9%	20.3%

※業績予想の当期純利益には、法人税・住民税及び事業税までを含み、現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性が見込まれる部分について検討していた段階であることから法人税等調整額は含みません。

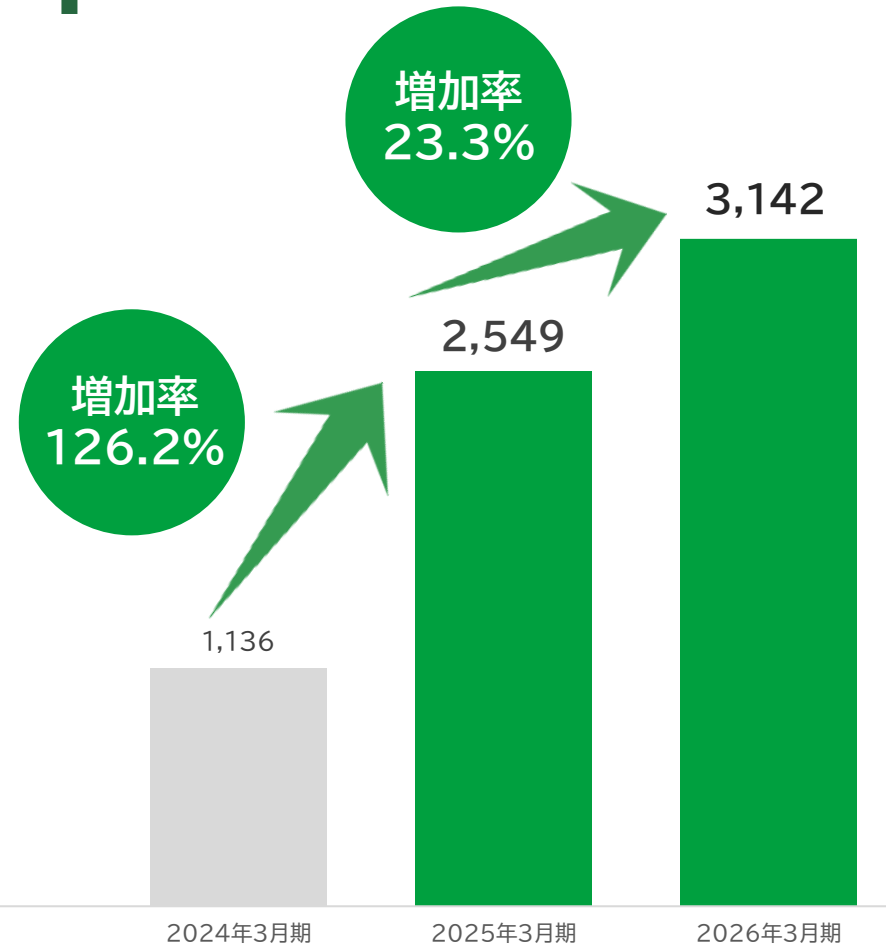
2026年3月期は国内での需要を「日常への定着」を実現し、2027年3月期では国内のみならず海外市場への展開により販路拡大を図ってまいります。

(百万円)

過去トレンド期

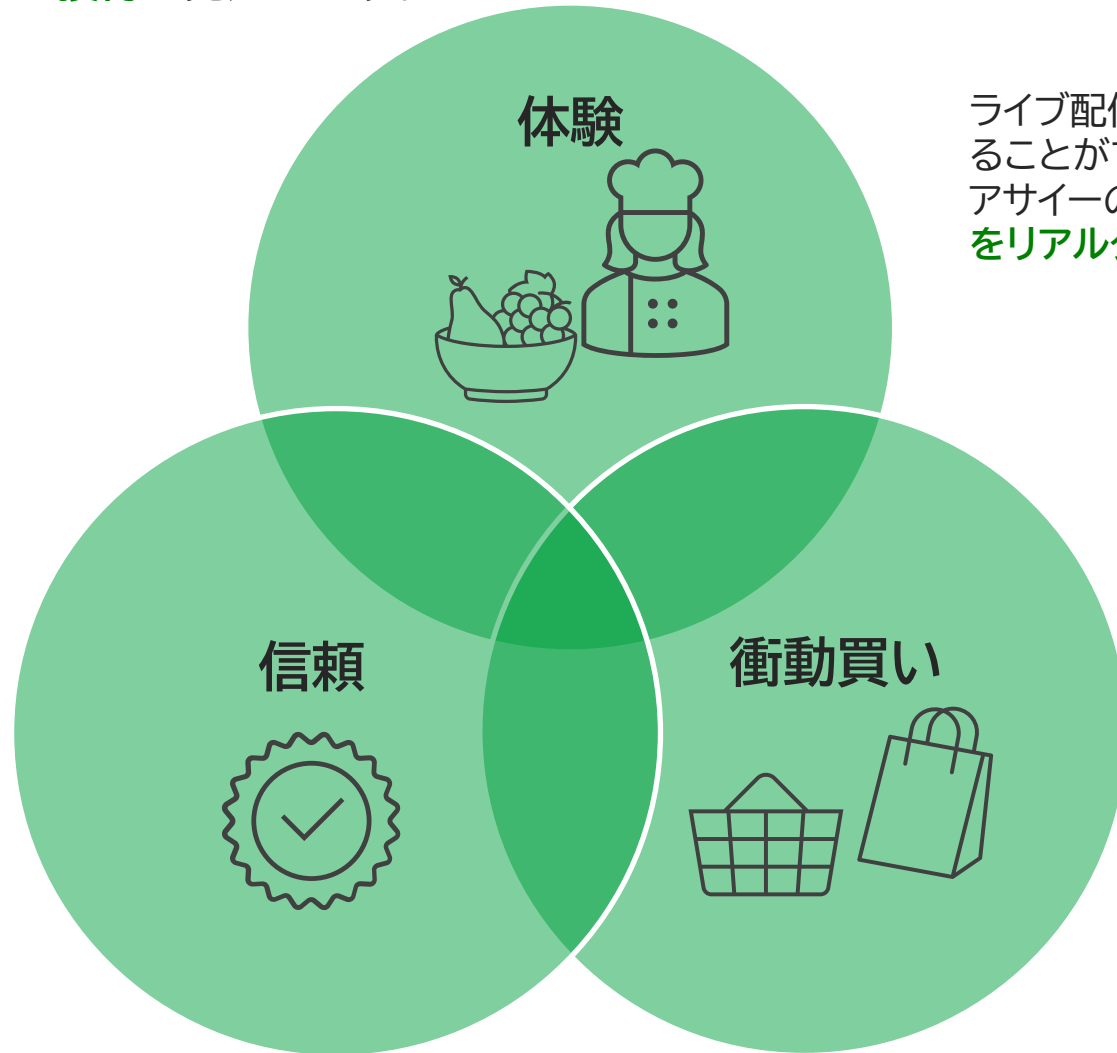


今回トレンド期



当社のブランド力と高付加価値商品を掛け合わせ、SNSを活用することでさらに感度高い層へアプローチし、“美容・健康”トレンドのシェア獲得を見込めます。

食品の**安全性と品質**は重要。
当社の「アグロフォレストリー産のアサイーを日本に初めて輸入したパイオニア」という**ノウハウとブランド力**は、**高い信頼性**を訴求する強力な武器になります。

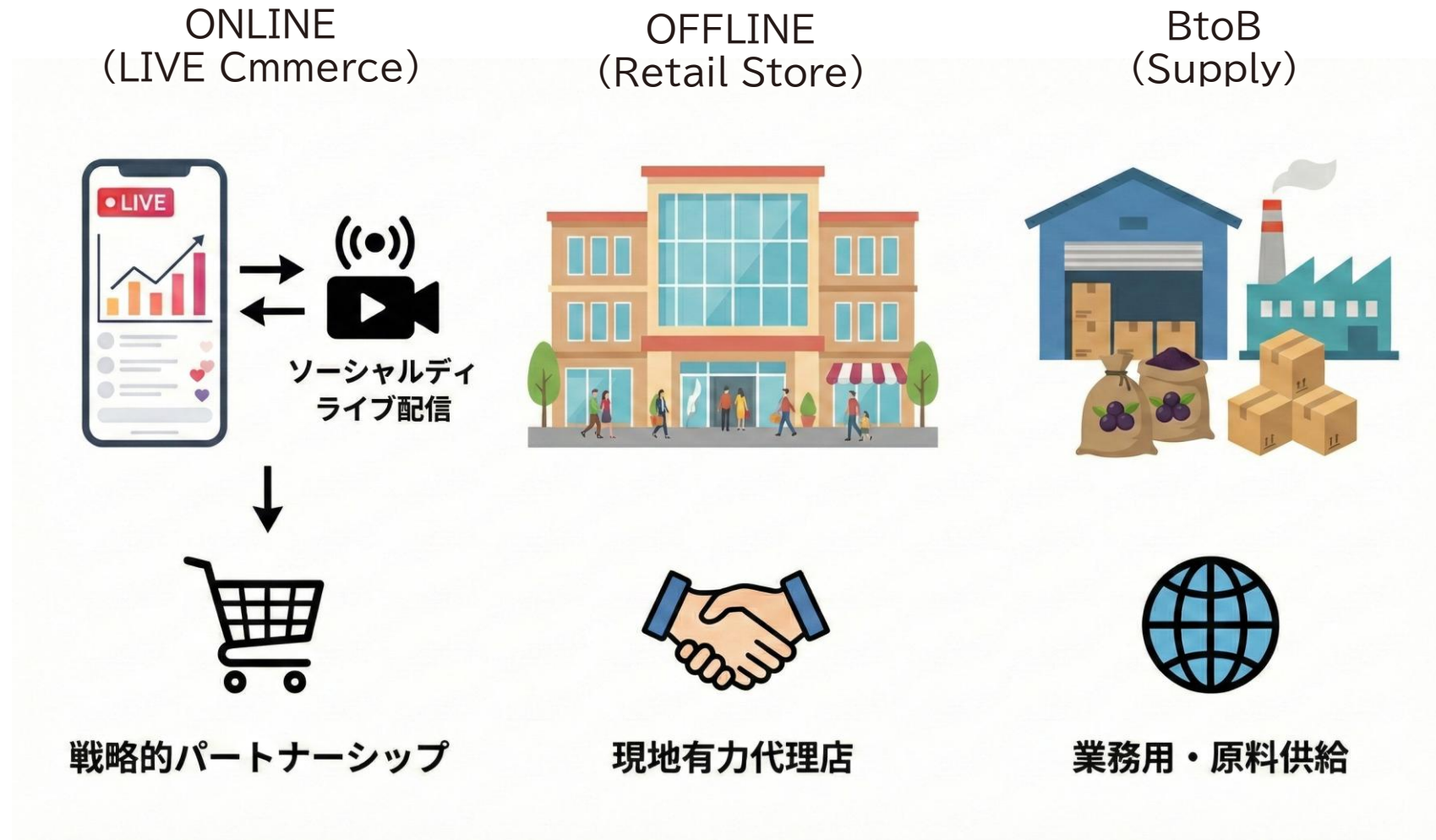


ライブ配信で調理、試食、アレンジの実演をすることができます。
アサイーの「**手軽さ**」や「**美味しそうな見た目**」をリアルタイムで伝えるのに最適です。

ショート動画でユーザーの潜在的な**ニーズ**を引き出し、ライブ配信で「今すぐ買う」衝動買いを誘発します。食品は、見た目のインパクトや、「今すぐ食べたい」という欲求にアプローチします。

※ライブコマースについての詳細は2025年6月19日公表の「売れるネット広告社グループ(9235)と越境EC協業施策開始のお知らせ～中国『TikTok(Douyin)ライブコマース』事業を共同推進へ～」及び 2025年7月30日公表の「売れるネット広告社グループ(9235)と「TikTok Shop」戦略開始のお知らせ～スーパーフード「アサイー」の国内販売をさらに加速～」をご参照ください。

「健康中国2030」を背景に高まる健康意識を捉え、越境ECを通じて現地市場に適した展開を実行。
BtoCでの認知確立を起点に、**オンライン・オフライン・BtoBの3チャンネル並行稼働**で市場開拓を加速させます。



ライブコマースへの参入

📶 **売れる越境EC社、他1社と契約準備中**
 SNSと連携したライブ配信を通じ、アサイーの魅力やアレンジレシピをリアルタイムで発信。スマートフォンから直接購買へ繋げる、**シームレスな顧客体験を創出**します。

👥 **双方向のブランドエンゲージメント**
 エンターテインメントとショッピングを融合させることで、Z世代を中心とした新たなターゲット層との**強固な信頼関係(トラスト)**を構築し、**衝動買いを喚起**します。



アジア市場への本格参入



中国BtoB総代理店契約準備中 台湾総代理店としてKFS社とMOU締結完了

巨大な消費市場を持つアジア圏へのアプローチを強化し、現地における**強固なBtoBネットワーク(代理店網)**を構築します。

「健康中国2030」などで高まる健康意識を追い風に、日本の枠を超えてフルッタフルッタブランドのグローバル展開を加速させ、次なる収益の柱へと育成してまいります。

※KFS社とのMOU契約に関する詳細は2026年4月27日開示の、「台湾およびタイ市場におけるライセンス製造および販売代理に関する 基本合意書(MOU)締結のお知らせ」をご参照ください。

SCOPE 3 プラットフォーム事業の 顧客実装

主要顧客と協議中

サステナブル原料である「アグロフォレストリー」によるCO2削減量を、企業のScope3(サプライチェーン排出量)削減に直接活用いただくためのプラットフォーム運用が本格化しています。

環境価値の可視化と透明性の高いデータ提供により、**導入企業のESG目標達成を強力にサポート**し、環境と経済が共存するサステナブル社会の実現を加速させます。



単なる自動販売機ではなく、**24時間稼働の「無人ロボット店舗」**として機能。当期中に累計設置台数50台へと拡大を目指す。



いつでも手軽に

24時間、好きなタイミングで場所を限られずアサイーボウルを購入可能。



BtoB市場の開拓

企業の福利厚生としてのオフィス導入や、アサイーと親和性の高い健康志向のユーザーが好む飲食店での設置を推進。



商業施設への展開

ショッピングモールやジムなど、新たな販売拠点を拡大。

エコツーリズム事業の検討

アグロフォレストリー認知度アップによる
訪問要望が急増

アマゾンの豊かな自然と、「森をつくる農業」の実践現場を実際に体感いただく
新事業を検討しています。

単なる観光ではなく、当社の原点である「自然と共に生きる」という理念を
ステークホルダーと共有し、持続可能な農業の価値を深める貴重な体験を提供します。

A large, faded version of the FRUTA logo is centered on the page. It features a diamond shape with "WILD TROPICAL FRUITS" at the top and "BELEM-KOBE" at the bottom. The word "FRUTA" is written in large, bold letters on either side of the diamond. In the center of the diamond, the number "04" is written in green and underlined.

04

成長投資と資金調達の進捗

01 成長投資の進捗

さらなる業績拡大にむけた事業展開

日常的にアサイーを楽しむことを加速させる施策と、国内外におけるSNSを活用した販路での拡大施策を展開。

サステナブルマッチングプラットフォーム

2025年11月6日、ローンチを発表。
サプライヤー/バイヤーの招致拡大を目指す。

02 調達済み金額と資金の充当状況

(単位:百万円)

資金使途	調達予定額	資金調達額	充当額	未充当額
アサイー原材料の調達+アマゾンフルーツの調達	6,689	5,746	1,259	4,184
カカオの調達	400		343	
アサイーの普及活動及びプロモーション	150		22	
アマゾンフルーツのプロモーション、マーケティング活動	150		0	
人材確保(人件費、採用費等)	100		10	
プラットフォームの構築及び維持	250		55	
サステナブルマッチングプラットフォームのPR	100		0	
合計	7,839	5,746	1,692	4,184

(1)今後の具体的な計画やその進捗については、事業計画及び成長可能性に関する事項及び、適時開示にて開示してまいります。

03 各新株予約権行使の進捗状況 (1)

新株予約権	発行数 (個)	行使数 (個)	未行使数 (個)	行使割合 (%)
第11回新株予約権	182,400	182,400	0	100.0
第12回新株予約権	182,400	182,400	0	100.0
第13回新株予約権	182,400	0	182,400	—
第14回新株予約権	187,000	119,500	67,500	63.9
第15回新株予約権	187,000	187,000	0	100.0
合計	921,200	671,300	249,900	72.9

第11回新株予約権は、2024年9月に全個数の行使が完了されました。行使完了についての詳細は2024年9月2日公表の「第三者割当による第11回新株予約権(行使価額修正条項付)の月間行使状況及び行使完了に関するお知らせ」をご参照ください。

第12回新株予約権は、2025年10月に全個数の行使が完了されました。行使完了についての詳細は2025年11月5日公表の「第三者割当による第12回新株予約権(行使価額修正条項付)の月間行使状況及び行使完了に関するお知らせ」をご参照ください。

第13回新株予約権は、コミット・イシュー型新株予約権であり、2027年4月20日(当日を含む。)から行使が可能となります。なお、コミット内容は行使期間中の価格算定日の終値の単純平均値の90%に相当する金額に基づき、本新株予約権の割当日の翌取引日(当日を含みます。)から、原則として20ヶ月以内(以下「全部コミット期間」といいます。)に、必ず第13回新株予約権の全てを行使すること(全部コミット)とされています。

第14回新株予約権は、随時行使型新株予約権であり、行使期間を2023年12月18日(当日を含む。)から2030年12月17日(当日を含む。)までとしています。なお、次の行使価額修正日は2026年6月15日となります。

第15回新株予約権は、本新株予約権は2025年2月に全個数の行使が完了されました。行使完了についての詳細は2025年2月3日公表の「第三者割当による第15回新株予約権(行使価額修正条項付)の月間行使状況及び行使完了に関するお知らせ」をご参照ください。

各新株予約権の詳細につきましては、2023年11月13日公表の「第11回乃至第13回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行、第14回及び第15回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行並びに定款の一部変更に関するお知らせ」、2025年6月13日公表の「資金使途の変更に関するお知らせ」をご参照ください。

A large, faded watermark of the FRUTA logo is centered on the page. It features the same diamond shape and central illustration as the header logo, but with the text "FRUTA" appearing twice in a large, light gray font, one on each side of the central illustration. The number "05" is prominently displayed in the center of the diamond, underlined in green.

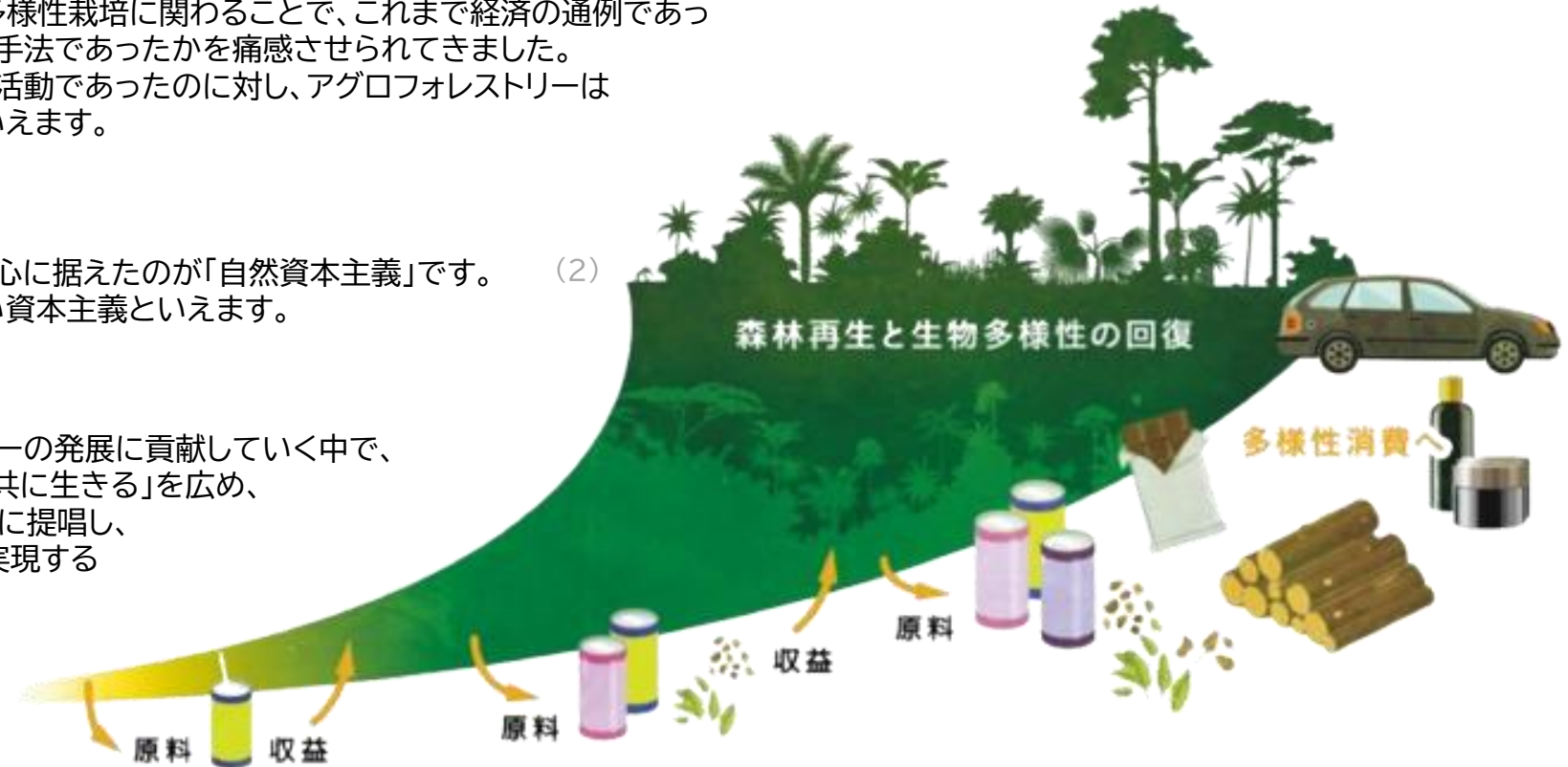
05
サステナビリティの取組み

アグロフォレストリー原料の使用を通して、累計450,000トンのCO2削減を目指します。 (1)

フルッタフルッタでは、アグロフォレストリーの多様性栽培に関わることで、これまで経済の通例であったモノカルチャー栽培が如何に自然と逆行する手法であったかを痛感させられてきました。そして、従来の農業が自然資本を搾取する経済活動であったのに対し、アグロフォレストリーは自然資本を保全し回復させる未来型の農法といえます。

従来の資本主義に対し、限りある自然資本を中心に据えたのが「自然資本主義」です。 (2)
その生産性の改善と回復に重点を置いた新しい資本主義といえます。

私たちは、事業活動を通してアグロフォレストリーの発展に貢献していく中で、アグロフォレストリーの概念ともいえる「自然と共に生きる」を広め、この新しい経済メカニズムを日本国内及び世界に提唱し、経済と環境が共存共栄する持続可能な社会を実現することを目指し、上記目標設定と致しました。



(1)目標値は、中長期計画で見通している 2031 年 3 月期までの売上高(取引高)から算出したアグロフォレストリー原料の調達量に基づき、そこから得られる CO₂削減量を創業時から累計して算出しています。
なお、2025年3月末時点では 65,000tを削減している見込みです。

(2)自然資本:植物、動物、土壌、鉱物、水、大気など、自然によって形成される資源のこと

当社のサステナブルに対する活動・情報をまとめたサステナブルページを公開しております。
当社が目指す未来をはじめ、アグロフォレストリーが貢献するSDGsや、企業活動とサステナブルの関係をまとめています。



■お主な内容

- ・実現したい未来
- ・フルッタフルッタのSDGs
- ・アグロフォレストリーで実現するSDGs
- ・私たちのサステナブルアクション
- ・最新情報



本資料におけるご説明に含まれる将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされ、もしくは算定されています。また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いてなされもしくは算定したものです。

将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や国内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

本資料は、情報の提供を目的とするものであり、当社により何らかの行動を勧誘するものではありません。日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。投資のご検討にあたっては、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

【お問合せ先】

株式会社フルッタフルッタ IR室

公式お問い合わせフォーム

https://www.frutafruta.com/ir_info/ircontact/

